

事業の名称：郷土料理を作ろう！

|       |            |        |           |
|-------|------------|--------|-----------|
| 団 体 名 | 中野の里づくり委員会 | 事 業 費  | 215,228 円 |
| 代 表 者 | 会長 奥田 武    | 補助金交付額 | 200,000 円 |

現状と課題

中野には、笑いがわ市のメンバーをはじめ、郷土料理が得意なお母さんたちが沢山いる。しかし、近年は同居家族が減り、子育てが忙しく、今は60～70代も現役で働く時代。なので、郷土料理の作り方を知らない方が多い。加えて、郷土料理が得意なお母さんたちも高齢になり、このまま田舎の味が途絶えてしまう、郷土料理の担い手がいなくなるかもしれない寂しさがある。

事業の目的

地区内外の若い世代に田舎料理の作り方を伝え、田舎の味の担い手や郷土（田舎）料理に興味を持ってもらうを増やしたい。また、地区計画にも謳っているが、郷土料理をきっかけに中野に興味をもってもらい、農業や野菜づくりも含め、食に関することで地区内外との交流を増やしていきたい。

実 施 内 容

◇実施状況

- ①笹巻ワークショップ（5/25）参加：24名
- ②子どもを対象とした夏休み糸瓜料理作り（8/8）参加：14名
- ③正月煮しめづくり（11/2）参加：8名
- ④杵と臼を使った餅つき（3/7）参加：13名

小学生から60代前半まで、  
地区内外、多世代の参加者があった。



◇成果と課題

4回あった郷土料理作りは、地域のお母さん達や、地元の講師さんのおかげで楽しくできた。みなさんが元気なうちに田舎の味を伝えたいと改めて思い、参加者からは今後もやって欲しいという声もあるので、これを期にこの事業を続けていきたい。

また、今年度の取り組みでは、改めて地域内に互いに教え合える関係性があることを実感することができ、また、多世代の参加や地区内外からの参加により交流の中で次の担い手育成につながる活動となった。

